

令和4年(2022年)2月9日
長野県公共事業評価委員会
担当：建設部建設政策課技術管理室
(室長) 栗林一彦
(担当) 関 貴幸 山越正順 北澤隆之
電話：026-232-0111(代表)内線3328
026-235-7294(直通)
FAX：026-235-7482
E-mail：gijukan@pref.nagano.lg.jp

令和3年度公共事業評価の評価結果について

県が実施する公共事業について、公共事業の一層の効率化、重点化を図るとともに、その実施過程の透明性を向上させることを目的として、事業着手前から完了後までの各段階において、公共事業評価を実施し、評価結果等を公表します。

[新規評価 10 箇所、再評価 6 箇所、事後評価 9 箇所 計 25 箇所]

- 評価の実施に当たり、第三者による長野県公共事業評価監視委員会(委員長:^{ながとうとしみや}永藤壽宮氏)から評価対象となった 25 箇所全てについて、県の評価案を妥当と判断する旨のご意見をいただきました。
- 公共事業評価監視委員会の意見を踏まえ、公共事業評価対象事業の評価(対応方針)を、別添のとおり決定しました。

【経緯】

- ・令和3年 7月16日 第1回長野県公共事業評価委員会(評価案作成)
- ・令和3年 8月25日 長野県公共事業評価監視委員会(審議4回、現地調査2回)
～11月16日
- ・令和3年 12月17日 長野県公共事業評価監視委員会から意見具申
- ・令和3年 12月21日 第2回長野県公共事業評価委員会(県の対応方針の決定)

総 論

令和元年東日本台風災害、令和2年7月豪雨災害に続き、今年8月、9月にも豪雨による土石流災害等の被害が発生し、本県は3年連続で甚大な自然災害に見舞われた。近年の激甚化・頻発化する災害に備え、県土強靱化を推進するため、水害・土砂災害対策や施設の老朽化対策のほか、災害に強い道路ネットワークの整備等、社会基盤の整備を行う公共事業の重要性が一層高まっている。

本県においては、公共事業の実施に当たり、事業着手前、事業実施中、事業完了後の各段階で評価する公共事業評価制度が構築されており、本年度、この制度に基づき、新規評価5事業10箇所、再評価3事業6箇所、事後評価9事業9箇所について、県から当委員会に意見聴取があり、県評価案の妥当性等について審議を行ったところである。各案件について、事業の必要性や進捗状況、事業効果の発現状況などの観点に加え、委員からの様々な意見も踏まえ審議を行った結果、いずれも県の評価案を妥当と判断した。

なお、審議の際には、対象事業の実施において、新たに整備する施設の水害等への安全性の確保、自転車・歩行者等の安全性への配慮、地域住民参加による施設管理の推進などについて、意見や提案がなされたところである。また、公共事業への理解の促進と一層の透明性の確保の観点から、事業実施後の効果を「見える化」し、積極的に情報発信していくよう助言があった。

本委員会としては、事業実施に当たり、これらの意見に配慮しつつ、新たな技術も活用した施設の点検や危険箇所の抽出などに基づく計画的な事業着手と、実施箇所のコスト縮減及び限られた予算の効率化・重点化による早期完成に努めていただくことを期待する。

1 新規評価結果について

事業採択の判断に活用するために、新たに事業に着手しようとする箇所について、事業の必要性、重要性などの視点から新規評価を行いました。

(1) 評価対象事業箇所

評価対象は、県が事業主体となって、令和4年度に新たに着手しようとする公共事業のうち、総事業費が10億円以上の10箇所としました。

(2) 新規評価の審議結果

県が新規評価を実施した箇所について、公共事業評価監視委員会で審議を行った結果、必要性、重要性、緊急性などをまとめた 県の評価案は妥当 とのご意見をいただきました。

対象箇所一覧及び評価結果

担当 部局	事業種類	事業名	路河川名等※	箇所名 (市町村名)	事業概要	予定工期	全体事業費 (千円)	県の 総合 評価	県の 評価案 県の対 応方針 案	評価監 視委員 会意見	評価 結果 県の対 応方針
建設部	治山・砂防	砂防	(砂) 烏川	ほりがわからすがわ 堀金烏川 (安曇野市)	砂防堰堤 1基 H=25.0m L=67.0m	R04~R12 (2022~2030)	3,000,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
建設部	治山・砂防	砂防	(砂) 中房川	ほたかありあけ 穂高有明 (安曇野市)	砂防堰堤 1基 H=15.5m L=58.0m	R04~R11 (2022~2029)	1,800,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
建設部	主要な道路の 整備	道路改築	(国) 292号	こまきばし 古牧橋 (中野市~飯山市)	橋梁架替工 L=2,010m W=6.5(12.25)m 内、橋梁 L=273m W=6.5(12.00)m	R04~R12 (2022~2030)	4,500,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
建設部	主要な道路の 整備	道路改築	(主) 飯田富山佐 久間線	まつぎ 松崎 (天龍村)	道路築造工 L=660m W=6.0(8.0)m	R04~R11 (2022~2029)	2,500,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
建設部	主要な道路の 整備	道路改築	(主) 大町明科線	あづみのどうろ 安曇野道路 (安曇野市)	道路改築工 L=4.0km W=6.5(9.5)m	R04~R15 (2022~2033)	25,000,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
建設部	主要な道路の 整備	道路改築	(主) 長野菅平線	おちあいばし 落合橋 (長野市)	橋梁架替工 L=1,700m W=6.5(16.0)m 内、橋梁 L=960m W=9.5(19.0)m	R04~R12 (2022~2030)	18,000,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
建設部	補完的な道路 の整備	街路 (道路改築含む)	(都) 赤砂東山田線 (一) 岡谷下諏訪 線	ひがしやまだ 東山田 (下諏訪町)	道路築造工 L=1,400m W=6.0(12.0~16.0)m	R04~R10 (2022~2028)	3,300,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
建設部	補完的な道路 の整備	街路	(都) 芳野双葉線	ふたば 双葉 (松本市)	道路改築工 L=340m W=6.0(16.0)m	R04~R10 (2022~2028)	1,500,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
農政部	農業基盤整備	経営体育成 基盤整備		すわだいら 諏訪平 (諏訪市)	区画整理 A=42ha 用水路 L=5,000m 排水路 L=6,000m	R04~R10 (2022~2028)	1,270,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
農政部	農村地域の防 災・減災	県営農村地 域防災減災		きじま 木島 (飯山市・木島平村)	排水機場工 1箇所(排水ポンプ4台) 排水路工 L=2,000m	R04~R08 (2022~2026)	1,200,000	A	事業 着手	妥当	事業 着手
				10箇所							

・事業の必要性、重要性、効率性、緊急性、計画熟度を点数化し、その合計により評価 [100点満点 A:75点以上 B:75~50点 C:49点以下]

※(砂):砂防河川 (国):一般国道 (主):主要地方道 (一):一般県道 (都):都市計画道路

注)網掛け:詳細審議箇所(各事業等を取り巻く社会状況等を勘案して、詳細審議の対象事業として監視委員会が抽出した箇所)

詳細審議箇所^の判断理由・審議上^の意見 (○判断に至った理由 ◇審議上^の意見)

1 道路改築事業 主要地方道大町明科線 ^{あづみのどうろ} 安曇野道路 【安曇野市】

- 地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」として、松本～大町～糸魚川の生活圏を結び、広域的な交流・連携を図る上で重要な役割を担う道路となるため。
- 当該区間は、安曇野インターチェンジ周辺の渋滞緩和、交通事故減少等の観点から、早期の整備が必要であるため。
- ◇ 水害に強い道路となるよう、3川合流部に架設する橋梁や、堤防に沿って築造する道路について、河川の専門家の意見も踏まえながら構造等を検討する必要がある。

[全 景]

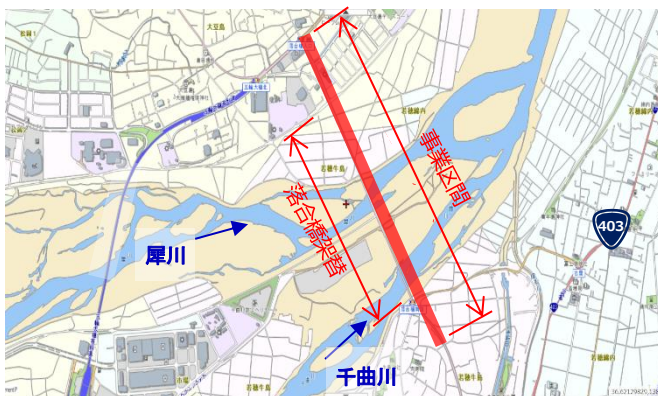


完成イメージ図

2 道路改築事業 主要地方道長野菅平線 ^{おちあいばし} 落合橋 【長野市】

- 橋梁の老朽化が著しく、橋梁長寿命化修繕計画に基づく架替が必要であるため。
- 若穂スマートインターチェンジ（仮称）と長野市街地を結ぶ重要な道路であり、更なる交通量の増加も想定され、整備の優先度が高いと考えられるため。
- ◇ 完成までの間の既存橋梁のリスク管理に配慮しつつ、新設橋梁の整備をできる限り早期に行う必要がある。

[事業実施箇所]



[既存橋梁の老朽化状況]

主部材の発錆



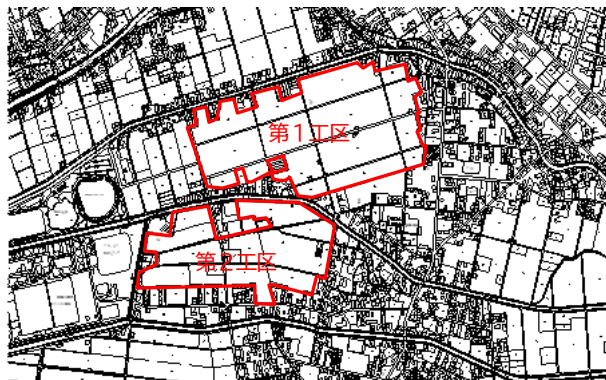
床版の土砂化



3 経営体育成基盤整備事業 ^{すわだいら} 諏訪平 【諏訪市】

- 地域農業の担い手への農地集積と、耕作放棄地の発生防止に資するため。
- 担い手の経営規模拡大には、ほ場の大区画化による生産性向上と、自動給水栓等によるスマート農業を実現することが有効であるため。
- ◇ 本地区区でのスマート農業の実現と他地区への普及のため、ICT化するスキルの明確化と人材育成、関係機関のサポート体制の構築が必要である。

[事業実施箇所]



[全 景]



2 再評価結果について

事業採択後長期間が経過している事業等について、事業の進捗状況等の視点から再評価を行いました。

(1) 評価対象事業箇所

評価対象は、事業採択後長期間が経過、または、再評価後一定期間が経過している事業等の6箇所としました。

(2) 再評価の審議結果

県が再評価を実施した箇所について、公共事業評価監視委員会で審議を行った結果、同委員会から県の再評価案は妥当とのご意見をいただきました。

対象箇所一覧及び評価結果

担当 部局	事業 種類	再評価 理由	事業名	路河川名等※	箇所名 (市町村名)	事業概要	予定工期	全体事業費 (千円)	県の 再評価 案	評価監 視委員 会意見	県の対 応方針
建設部	地すべり対策	②	急傾斜地崩壊対策等	(急) 西峯	なかじょうしのみね 中条西峯 (長野市)	補強土壁工 L=181.5m H=4.5m~7.5m 崩壊土砂防止柵工 L=108.5m H=3.2m~5.0m	H24~R05 (2012~2023)	593,000	継続	妥当	継続
建設部	主要な道路の 整備	④	道路改築	(国) 152号	こおろし 小嵐バイパス (飯田市)	道路築造工 L=2,425m W=6.5(8.0)m	H19~R05 (2007~2023)	2,100,000	継続	妥当	継続
建設部	主要な道路の 整備	②	道路改築	(国) 418号	てんりゅうがわばし 天竜川橋 (天龍村)	道路築造工 L=450m W=6.0(9.50~9.75)m	H24~R08 (2012~2026)	2,700,000	継続	妥当	継続
建設部	主要な道路の 整備	④	道路改築	(一) 豊田中野線	かさぐら へまだ 笠倉~壁田 (中野市)	道路築造工 L=1,810m W=6.0(9.75)m	H19~R05 (2007~2023)	5,000,000	継続	妥当	継続
建設部	補完的な道路 の整備	⑤	街路	(都) 竜東線	ちゅうおうきた 中央北 (伊那市)	道路改築工 L=262m W=7.0(16.0)m	H25~R06 (2013~2024)	530,000	継続	妥当	継続
建設部	補完的な道路 の整備	⑤	街路	(都) 県庁線ノ井線	かわなかじま しののい 川中島~篠ノ井 (長野市)	道路改築工 L=384m W=13.0(22.0~25.0)m	H25~R06 (2013~2024)	1,130,000	継続	妥当	継続
					6箇所						

・事業の進捗状況、事業を巡る社会経済情勢等の変化等の観点から、「継続」、「計画変更」、「一時休止」、「再開」、「中止」の5段階で評価

※ (急)：急傾斜地崩壊危険地区 (国)：一般国道 (一)：一般県道 (都)：都市計画道路

[再評価理由]

- ① 事業採択後、5年間を経過した後も未着工の事業
- ② 事業採択後、10年間が経過した時点で継続中の事業
- ③ 事業採択前の準備・計画段階で5年間が経過している事業
- ④ 再評価実施後、5年間が経過した時点で、一部供用されている事業を含め、継続中の事業
- ⑤ その他必要と認める事業

注) 網掛け：詳細審議箇所(各事業等を取り巻く社会状況等を勘案して、詳細審議の対象事業として委員会が抽出した箇所)

詳細審議箇所の判断理由・審議上の意見 (○判断に至った理由 ◇審議上の意見)

1 道路改築事業 一般県道豊田中野線 ^{かさぐら} 笠倉 ~ ^{へきだ} 壁田 【中野市】

- 第一次震災対策緊急輸送路に指定されている国道 117 号と国道 292 号を結び、千曲川の出水時においても通行可能な新たなルートとして、災害に強い道路ネットワークが形成されるため。
- 熊本地震等を踏まえた基礎構造の設計見直しにより事業費が増額となるが、変更はやむを得ないものであり、増額後も費用便益比が 1.0 以上であるため。
- ◇ 熊本地震や令和元年東日本台風など近年の災害を踏まえた設計の見直しや確認を行っており、災害に強い道路として、早期の完成を期待する。

[全 景]



[橋梁施工状況 (公共事業評価委員会の現地調査)]



2 街路事業 都市計画道路県庁篠ノ井線 ^{かわなかじま} 川中島 ~ ^{しののい} 篠ノ井 【長野市】

- 道路拡幅改良により、慢性的な交通渋滞の解消による円滑な都市交通や快適な歩行空間が確保されるため。
- 暫定的な右折車線の整備により、交通渋滞の緩和の効果が発現してきている。引き続き、全体計画の完成により、更なる円滑な交通や歩行者の安全確保が期待されるため。
- ◇ 用地買収、補償について、代替地の提案など丁寧な交渉を行うことで、事業の進捗を図っていく必要がある。

[北原交差点状況 (事業着手前)]



[北原交差点改良状況]



3 事後評価結果について

公共事業について、事業完了後一定期間を経過した箇所の事業効果の発現状況や施設の維持管理状況などを検証する事後評価を行いました。

評価結果は、今後の事業の計画・調査・実施の検討などに活用していきます。

(1) 評価対象事業箇所

評価対象は、県が実施した公共事業で、事業完了後一定期間（5年を基本）を経過した箇所から、事業種類ごとに事業費の大きい箇所など9箇所を抽出して実施しました。

(2) 事後評価の審議結果

県が事後評価を実施した箇所について、公共事業評価監視委員会で審議を行った結果、事業効果の発現状況などをまとめた 県の評価案は妥当 とのご意見をいただきました。

対象箇所一覧及び総合評価結果

担当 部局	事業種類	事業名	※ 路河川名等	箇所名 (市町村名)	事業概要	工期	最終事業費 (千円)	県の 総合 評価 案	評価監 視委員 会意見	県の総 合評価
建設部	地すべり対策	地すべり対策	(地) 落合	おちあい 落合 (山ノ内町)	排水トンネル L=385m 集水井 N=30基 水路工 L=2,420m 土留工 174m	H03~H27 (1991~2015)	3,083,826	A	妥当	A
建設部	地すべり対策	急傾斜地崩 壊対策等	(急) 太田切	おたぎり 太田切 (駒ヶ根市)	重力式擁壁工 L=463m H=3.2~5.1m 連続繊維補強土工 L=502m sl=0.2~8.5m A=2,850㎡	H23~H27 (2011~2015)	348,824	A	妥当	A
建設部	治山・砂防	砂防	(砂) 生金沢	いり 熊の入 (筑北村)	砂防堰堤工 1基 H=12.5m L=115.3m 溪流保全工 L=712.3m	H18~H27 (2006~2015)	695,569	A	妥当	A
建設部	主要な道路の 整備	道路改築	(主) 天竜公園 阿智線	こか 伍和 (阿智村)	道路築造工 L=1,040m W=6.0(8.0)m 橋梁工 L=109m トンネル工 L=318m	H18~H27 (2006~2015)	2,779,380	A	妥当	A
建設部	補完的な道路 の整備	街路	(都) 中常田新 町線	ときだ 常田 (上田市)	道路改築工 L=672m W=6.0(16.0)m	H21~H29 (2009~2017)	2,050,000	A	妥当	A
建設部	道路付帯施設 の整備	交通安全施 設等整備	(一) 三才大豆 島中御所線	あさひ 朝陽 (長野市)	歩道整備 L=530m W=2.5m	H20~H29 (2008~2017)	649,573	A	妥当	A
農政部	農村地域の防 災・減災	県営農村地 域防災減災		おかやま 岡山 (飯山市)	ため池改修工 2箇所 用水路工 L=2,483m	H22~H27 (2010~2015)	352,000	A	妥当	A
農政部	農業基盤整備	県営かんが い排水		いちのせせぎ 一ノ瀬汐 (原村)	用水路工 L=1,064m	H22~H27 (2010~2015)	152,000	A	妥当	A
林務部	治山・砂防	治山		にしやま 西山 (諏訪市)	谷止工 N=14個 床固工 N=4個 山腹工 A=0.34ha 森林整備 A=135.6ha	H19~H27 (2007~2015)	409,300	A	妥当	A
				9箇所						

・事業効果の発現状況等の評価項目を点数化し、その合計により評価 [100点満点 A:75点以上 B:74~50点 C:49点以下]

※ (地):地すべり防止区域 (急):急傾斜地崩壊危険地区 (砂):砂防河川 (国):主要地方道 (一):一般県道 (都):都市計画道路

注)網掛け:詳細審議箇所(各事業等を取り巻く社会状況等を勘案して、詳細な審議の対象事業として委員会が抽出した箇所)

詳細審議箇所の判断理由・審議上の意見 (○判断に至った理由 ◇審議上の意見)

1 交通安全施設等整備事業 一般県道三才大豆島中御所線 ^{あさひ}朝陽 【長野市】

- 歩道整備により、小学校の通学路の安全性が確保され、地域住民が安心して通行できるようになったため。
- 整備後に人対車の事故が発生しておらず、国道18号長野東バイパスの供用開始に伴う交通の変化にも効果を発揮しているため。
- ◇ 事業の効果を積極的に発信していく広報に期待する。



2 治山事業 ^{にしやま}西山 【諏訪市】

- 荒廃溪流の安定化や山腹崩壊地の復旧を図るための施設整備と森林整備の実施により、保安林機能の回復が図られるとともに、地域住民による自発的な防災活動にもつながっているため。
- 事業実施後に発生した豪雨の際に、本地区の保全対象では被害が生じておらず、防災機能の高い森林づくりの効果が発揮されているため。
- ◇ 災害発生地での復旧対策だけでなく、航空レーザー測量等を活用して抽出した危険箇所の事前防災計画を推進していく必要がある。

